

新たな挑戦としての4年生以下軟式野球大会開催に向けて — 尾張JP若葉教育リーグ 運営方法および基本方針 —

『～やってみる。失敗する。そこから学び、成長する。～』

1. 大会開催の趣旨

尾張JP若葉教育リーグは、子どもたちの健全な成長と、スポーツを通じた学びを最優先に考え、勝敗や結果のみを目的としない、教育的視点に立ったリーグ運営を行います。

本リーグでは、挑戦すること、失敗すること、そしてその経験から学ぶことを、成長に欠かせない大切なプロセスとして位置づけています。

指導者・保護者・運営者は、子どもたちが安心してチャレンジできる環境を整え、失敗を責めるのではなく、次につながる学びとして支える姿勢を共有します。

また、すべての選手が主役となり、一人ひとりが十分な経験を積める機会を大切にするとともに、フェアプレイとリスペクトの精神を重視します。

尾張JP若葉教育リーグは、スポーツを通じて「考える力」「挑戦する力」「仲間を思いやる心」を育み、次の世代へとつながる健全な育成の場となることを目指します。

さらに、ティーボールから軟式野球へ移行し、はじめて軟式野球に挑戦する子どもたちが無理なく取り組めるよう、試合環境・ルール運用・指導面において工夫を重ね、段階的に「野球」に親しみ、理解を深めていける大会運営を行います。

2. 基本方針

尾張JP若葉教育リーグは、以下の基本方針のもと運営します。

- 育成を最優先とした大会運営
子どもたちの成長段階に配慮し、実戦を通じて学びと経験を積める環境を整えます。
- 楽しく・安全にプレイできる大会
安全管理を最優先とし、安心して野球に取り組める大会運営を行います。
- フェアプレイとスポーツマンシップの育成
ルール・マナーを守り、相手を尊重する心を養います。
- 地域と連携した運営
指導者・保護者・関係団体と連携し、地域全体で子どもたちを支える大会を目指します。

3. 大会形式

本大会は、1リーグ・1トーナメント制にて開催します。

リーグ戦で複数試合を経験した後、トーナメント戦へ進むことで、実戦経験と大会ならではの緊張感の両方を体験できる構成とします。

☆リーグ戦名称 『尾張JP若葉教育リーグ』

☆トーナメント大会名称 『ジュニアチャレンジカップ』

4. 対象・参加資格

男子: 小学4年生以下

女子: 小学5年生以下

5. ルールの考え方

本大会では、子どもたちの成長段階に配慮し、**本来の野球ルールとは一部異なる特別ルール**を採用しています。

これはルールを簡略化するためではなく、

- ①プレイ機会を増やす
- ②失敗を恐れず挑戦できる
- ③野球の楽しさを知る

【大会区分ごとのルール運用について】

本大会では、各大会の目的および育成段階に応じて、ルール運用を以下のとおり区分して実施します。

■尾張JP若葉教育リーグ(リーグ戦)

若葉教育リーグでは、はじめて軟式野球に挑戦する選手が多いことを踏まえ、試合の流れや安全面、選手の経験機会を重視した運用を行います。

- 1イニングの攻撃において、**5点目の得点が入ったプレイをもって攻撃終了**とします。
- **そのプレイ中に記録された得点はすべて有効**とします。
- アウトカウントの数に関わらず、当該プレイ終了後にチェンジとなります。

育成・チャレンジを重視し、選手の意欲と成功体験を大切にするための運用とする。

■ジュニアチャレンジカップ(トーナメント大会)

ジュニアチャレンジカップでは、試合経験を積んだ選手がより「野球らしい展開」を体験できるよう、**通常の野球ルールを運用**とする。

- 攻撃は**3アウトチェンジ**とします。
 - 得点制限は設けず、試合状況に応じて6点、7点、8点以上の得点が入る場合もあります。
- トーナメント大会としての緊張感や、試合展開を考える力を育むことを目的としています。

■投手のポークについて(両大会共通ルール)

反則による罰則は適用せず、**指導・注意**とする。

これは、投球動作の理解と技術向上を目的とした教育的配慮によるものである。

■同一試合での投手と捕手の兼任禁止について

2027年(令和9年度)から導入となりますが、監督者会議に議論とする。



6. 特別表彰について

若葉教育リーグの理念に沿った取り組みが見られたチームを対象に、特別表彰を行います。

特別表彰は、フェアプレイ、安全への配慮、選手全員の出場機会の確保、挑戦を後押しする指導姿勢など、**チームとしての取り組み**を総合的に評価し、選考します。

なお、特別表彰の選考にあたっては、大会期間中に実施する「**審判チェック簡易フォーム**」を参考資料とし、リーグ戦およびトーナメント大会の全日程終了後に大会本部にて協議のうえ決定します。

特別表彰の対象となったチームには、後日、大会本部より連絡のうえ、別日に大会役員が出向き表彰を行うものとします。

※特別表彰は、順位や勝敗を評価するものではありません。

※「特別表彰は、個人ではなく**チーム全体の取り組み**を評価するものです。

【特別表彰の目的】

- 挑戦する姿勢や努力を称える
- フェアプレイや仲間への思いやりを評価する
- 子どもたちが前向きに野球へ取り組むきっかけとする

【表彰内容】 ※全て賞状とさせていただきます。

チャレンジ賞

失敗を恐れず、積極的に挑戦する姿勢が見られたチーム。

フェアプレイ賞

ルールや相手、審判を尊重し、フェアプレイの精神に基づいた模範的な行動が見られたチーム。

若葉賞(教育賞)

大会を通じて、選手全員の出場機会の確保や安全への配慮、挑戦を後押しする指導姿勢など、**教育的観点から特に優れた取り組みが見られたチーム。**

【選考方法】

選考にあたっては、大会期間中に実施する「**審判チェック簡易フォーム**」等を参考資料とし、客観性と公平性に配慮した形で大会本部にて協議のうえ決定します。

対象大会…尾張JP若葉教育リーグ、ジュニアチャレンジカップ

7. 審判チェック簡易フォーム

尾張JP若葉教育リーグの理念に基づき、フェアプレイ・安全配慮・育成を重視したチーム運営が行われているかを確認するための簡易チェックです。

試合内容の勝敗や結果を評価するものではなく、特別表彰選考の参考資料として活用します。

※評価ではなく「確認・記録」を目的としています。

※個人名の記載は不要です。

【チェック項目】 5段階評価

1:まったくそう思わない 2:あまりそう思わない 3:どちらともいえない 4:そう思う 5:とてもそう思う

①フェアプレイについて

- 選手・ベンチともにフェアなプレイ・態度が見られた

②指導者・ベンチの言動

- 選手を尊重した前向きな声かけがされていた

③失敗への対応

- ミスに対して責める言動は見られなかった

④全員出場・育成配慮

- 出場機会の確保など、育成を意識した起用が見られた

⑤安全への配慮

- 投球数管理、頭部死球後の対応等、安全面への配慮が適切だった

⑥審判への対応

- 審判に対するリスペクトある態度が保たれていた

【総合所見(任意)】

⑦印象に残った良い取り組みがあれば記入してください

※特別表彰選考の参考とさせていただきます。



審判チェック簡易フォーム

QRコード

若葉教育リーグ部門 LINE 登録について

若葉教育リーグ部門に関する各種情報や組合せ等は、LINEにて配信いたします。

チーム関係者の方は、登録・招待をお願いいたします。

なお、役員交代等があった場合は、情報管理の都合上、速やかに退会していただきますようお願いいたします。



特別表彰の流れ

① 試合後チェック



各チーム1名ずつ回答



Googleフォームに回答

② データ集約



回答自動集計

③ 大会本部で確認



全回答を総合評価

④ 全日程終了後に表彰決定

リーグ戦

トーナメント

公平に総合判断



チーム単位で表彰!